**製品名: チオレドキシンウサギポリクローナル抗体**
**カタログ番号: APRab18883**
研究使用のみ

## 概要

| | |
|---|---|
| **説明** | ウサギポリクローナル抗体 |
| **宿主** | うさぎ |
| **応用** | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| **反応性** | ヒト、マウス、ラット |
| **標識** | 非共役 |
| **修飾** | 未修正 |
| **アイソタイプ** | IgG |
| **クローン性** | ポリクローナル |
| **形態** | 液体 |
| **濃度** | 1mg/ml |
| **保存** | アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| **輸送** | 氷袋 |
| **バッファー** | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| **精製** | アフィニティー精製 |

## 応用

| | |
|---|---|
| **希釈倍率** | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| **分子量** | 12kDa |

## 抗原情報

| | |
|---|---|
| **遺伝子名** | TXN TRDX TRX TRX1 |
| **別名** | Thioredoxin (Trx;ATL-derived factor;ADF;Surface-associated sulphydryl protein;SASP) |
| **遺伝子 ID** | 7295.0 |
| **SwissProt ID** | P10599 |
| **免疫原** | ヒトチオレドキシン由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲：52-101 |

## 背景

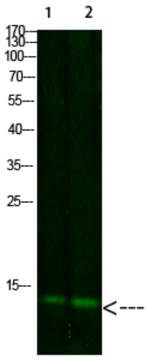
この遺伝子によってコードされるタンパク質はホモ二量体として機能し、多くの酸化還元反応に関与しています。コードされるタンパク質は、細胞内一酸化窒素への応答の一部である、特定のタンパク質中のシステインの可逆的な S-ニトロシル化において活性で

す。このタンパク質は細胞質に存在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリアントが見つかっています。[RefSeq 提供、2011 年 10 月],function:ADF は、インターロイキン-2 受容体 TAC（IL2R/P55）の発現を増強します。,function:活性中心のジチオールをジスルフィドに可逆的に酸化することにより、さまざまな酸化還元反応に関与し、ジチオール-ジスルフィド交換反応を触媒します。標的タンパク質中のシステイン残基の可逆的な S-ニトロシル化に役割を果たし、それによって細胞内一酸化窒素への応答に寄与します。一酸化窒素（NO）に反応して CASP3 の活性部位である Cys をニトロシル化し、カスパーゼ 3 の活性を阻害する。,PTM：完全に還元されたタンパク質では、一酸化窒素（NO）に反応して Cys-69 と Cys-73 の両方がニトロシル化される。タンパク質に 2 つのジスルフィド結合が存在する場合、Cys-73 のみがニトロシル化される。Cys-73 は標的タンパク質のニトロシル化における供与体として機能する。,類似性：チオレドキシンファミリーに属する。,類似性：1 つのチオレドキシンドメインを含む。,サブユニット：ホモ二量体；ジスルフィド結合。酸化還元活性部位を介して TXNIP と相互作用する。MAP3K5 および CASP3 と相互作用する。,

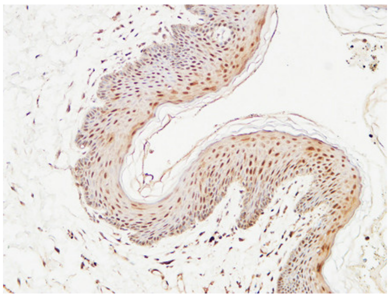
## 研究分野

タグとセルマーカー

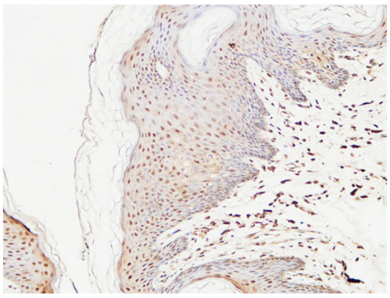
## 画像データ



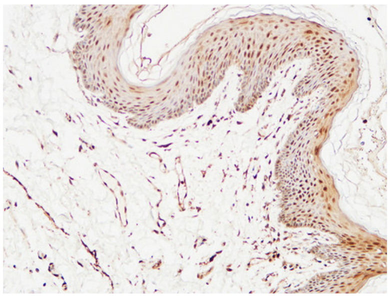

1,マウス肝臓細胞、2,Hela 細胞を、チオレドキシンウサギポリクローナル抗体（1:1000 希釈、4℃、一晩）を用いてウェスタンブロット解析した。二次抗体：ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800（1:5000 希釈、25℃、1 時間）



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:400（4°、一晩）に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA（pH8.0）を使用した。3、二次抗体を 1:200（室温、30 分）に希釈した。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:400（4°、一晩）に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA（pH8.0）を使用した。3、二次抗体を 1:200（室温、30 分）に希釈した。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:400（4°、一晩）に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA（pH8.0）を使用した。3、二次抗体を 1:200（室温、30 分）に希釈した。